



KKR東海病院

第48号 2015.4

編集責任者 丸田真也(診療部長)

# とうかい

国家公務員共済組合連合会 東海病院  
〒464-8512  
名古屋市千種区千代田橋1-1-1  
TEL 052-711-6131(代)  
FAX 052-712-0052  
<http://www.toukaihospi.jp/>

新年度にあたり  
診療部長 丸田 真也 …… 1

内視鏡外科手術  
—これまでの歩みと今後の展望—  
内視鏡外科手術センター  
顧問 長谷川 洋 ……2~3

新任医師のご紹介  
内科医長 西村 英哉 ……3  
整形医師 藤田 明子 ……3

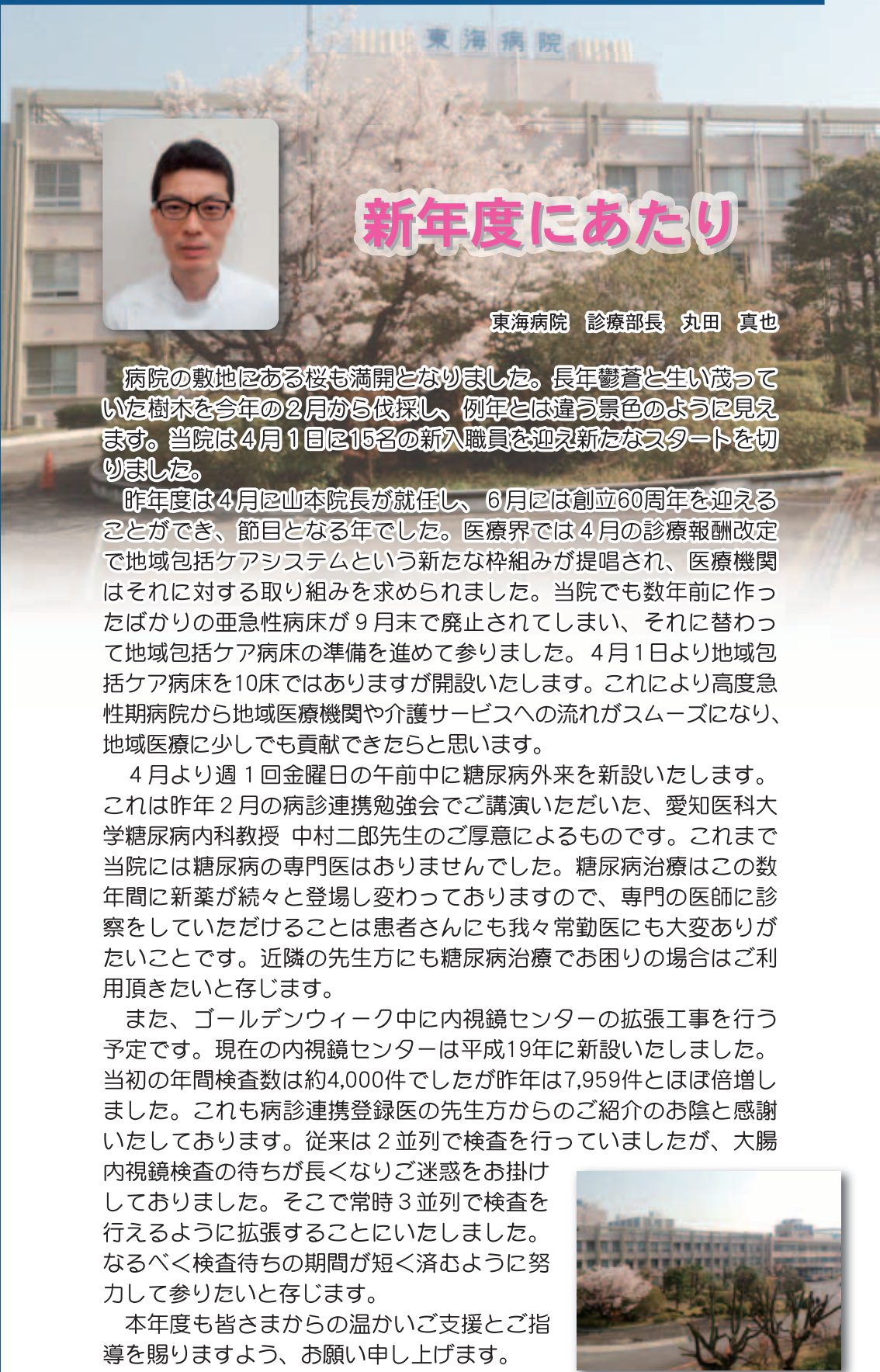
糖尿病内科外来の新設 ……4

鼠径ヘルニア外来の新設 ……4

地域包括ケア病床の新設 ……4

市民公開講座開催のご案内 ……4

病診連携勉強会のご案内 ……4



## 新年度にあたり

東海病院 診療部長 丸田 真也

病院の敷地にある桜も満開となりました。長年鬱蒼と生い茂っていた樹木を今年の2月から伐採し、例年とは違う景色のように見えます。当院は4月1日に15名の新入職員を迎え新たなスタートを切りました。

昨年度は4月に山本院長が就任し、6月には創立60周年を迎えることができ、節目となる年でした。医療界では4月の診療報酬改定で地域包括ケアシステムという新たな枠組みが提唱され、医療機関はそれに対する取り組みを求められました。当院でも数年前に作ったばかりの亜急性病床が9月末で廃止されてしまい、それに替わって地域包括ケア病床の準備を進めて参りました。4月1日より地域包括ケア病床を10床ではありますが開設いたします。これにより高度急性期病院から地域医療機関や介護サービスへの流れがスムーズになり、地域医療に少しでも貢献できたらと思います。

4月より週1回金曜日の午前中に糖尿病外来を新設いたします。これは昨年2月の病診連携勉強会でご講演いただいた、愛知医科大学糖尿病内科教授 中村二郎先生のご厚意によるものです。これまで当院には糖尿病の専門医はおりませんでした。糖尿病治療はこの数年間に新薬が続々と登場し変わっておりますので、専門の医師に診察をしていただけることは患者さんにも我々常勤医にも大変ありがたいことです。近隣の先生方にも糖尿病治療でお困りの場合はご利用頂きたいと存じます。

また、ゴールデンウィーク中に内視鏡センターの拡張工事を行う予定です。現在の内視鏡センターは平成19年に新設いたしました。当初の年間検査数は約4,000件でしたが昨年は7,959件とほぼ倍増しました。これも病診連携登録医の先生方からのご紹介のお陰と感謝いたしております。従来は2並列で検査を行っていましたが、大腸内視鏡検査の待ちが長くなりご迷惑をお掛けして参りました。そこで常時3並列で検査を行えるように拡張することにいたしました。なるべく検査待ちの期間が短く済むように努力して参りたいと存じます。

本年度も皆さまからの温かいご支援とご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。



### KKRとは?

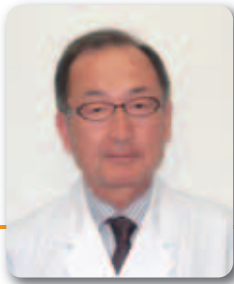
国家公務員共済組合連合会の  
頭文字をとった略称です。  
私たちはみなさまにKoKoRo(心)の  
こもったサービスを提供するための

誠意 (Sincerity)

奉仕 (Service)

考動 (Science)

3つのSをモットーに、  
地域社会への貢献を目指しています。



# 内視鏡外科手術 —これまでの歩みと今後の展望—

東海病院 内視鏡外科手術センター 顧問 長谷川 洋

最近の内視鏡外科手術の進歩はめざましいものがありますがその歴史はまだ比較的浅く、1987年にフランスで胆嚢摘出術が行われたのが最初です。我が国では1990年に第1例目の胆嚢摘出術が施行されました。それ以降、この手術は極めて短期間に世界中に広まり、従来の開腹手術に取って替わりました。この手術の大きな特徴は、従来の開腹手術に比し、傷が小さい（整容性に優れる）、痛みが少ない、入院期間が短いなどの特徴があり、体にやさしい手術（低侵襲手術）と評価されています。本当に低侵襲であるかどうかを証明するデータはありませんが、手術後の経過などからは回復の早さを実感でき、短期的なQOLが良いのは確かだと感じます。今後高齢者に対して手術を行う機会はますます増加してくると考えられますが、その際に大変有用な治療手段になると思われます。しかし、良い面ばかりではなく、今後解決すべき多くの問題点があります。その主なものとしては、手術時間が延長するため術者のストレスが大きい、材料費が高額である、術者の技量に大きな影響を受けるなどがあげられます。

現在、我が国では胆嚢手術の約80%が内視鏡外科手術で行われており、すでに第一選択の術式となっています（図1）。大腸、胃の内視鏡手術も年々増加傾向にあります（図2）、がんの手術への導入に関しては当初かなり疑問視されました。最近、大腸においては長期成績に差がないことが証明されつつあり（図3）、施行例も増加しています（図4）。

脾臓、肝臓など今まで不可能と考えられていた領域への適応拡大も行われ始めていますが、まだ一般的ではありません。

実際の手術を行う上でのこの手術の最大の利点は、拡大視効果によってより精密で出血の少ない手術が可能となることです。しかし、二次元の画面での操作（奥行がわからない）、触覚がない（硬さがわからない）、周囲が見えない（視野が狭い）などの欠点もあります（図5）。また、手術器具の操作性の面でもかなり制約があります。そのため、このような特性を十分に理解した上で、これに対応できるようなトレーニングを行くことが重要になってきます。開始当初に重大な医療事故が発生したため、日本内視鏡外科学会では世界に先駆けて「技術認定制度」を立ち上げ、術者の技量の認定を行っています。これは、ビデオによる実技審査で合格率30~40%という大変難しい試験になっています。

今後の内視鏡外科手術はどのような方向に向かっていくのでしょうか。方向性としては大きく3つの点が挙げられます。1つは適応臓器、疾患の拡大で肝臓、脾

図1 胆嚢摘除術 -術式の推移-

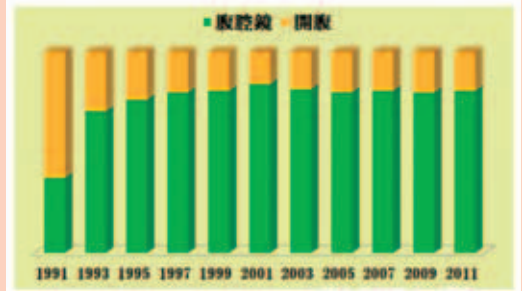


図2 消化器外科領域での施行数の推移

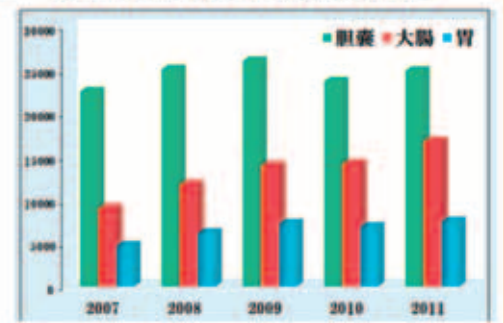


図3 腹腔鏡下大腸切除術の生存率

名古屋第二赤十字病院の成績

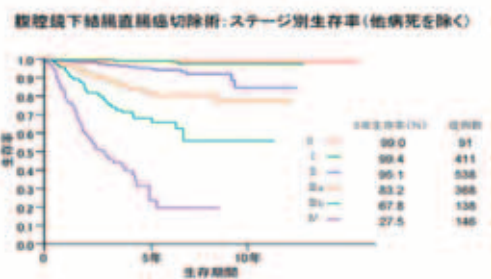


図4 大腸癌に対する腹腔鏡手術

名古屋第二赤十字病院の成績



臓領域などへの適応拡大です。2つ目はより整容性を求める方向で、使用器具をより細径（2-3mm径）にしたり、穴の数を減らす手術です。単孔手術、reduced port surgeryと言われるものです。また、体表に全く傷のつかないNOTESという術式も試みられています。

3つ目は、操作性、安全性の向上です。これには、3D内視鏡、ロボット手術（ダヴィンチ）があり、実際に行われています。両者とも三次元の視野で手術を行うことができるので、操作性が格段に向上します。特に、ロボット手術では手の動きのブレを排除でき、また多関節機能により正確な手術ができる可能性があります。ただ、現在保険収載されているのは前立腺摘除だけなので、ほかは自費診療となり高額であること、手術により時間がかかることが問題です。また、設備投資に多大な費用が必要で維持費も高額であることから、ほかの領域への普及にはまだ時間を要するものと思われます。

どのような治療でも安全性が担保されなければ第一選択の治療としては成り立ちません。技術、器機の進歩によって整容性と安全性のバランスは変化してくると思いますが、このバランスを保ちつつどこまで適応臓器、疾患を拡大できるかが今後の大きな課題と考えられます。また、医療経済面からはcost benefitという観点からの十分な検討がますます必要になってくると考えられます（図6）。



## 新任医師のご紹介



●内科部長 ●西村 英哉(にしむら ひでや) ●診療科：内科

平成27年1月に聖霊病院より着任しました内科の西村英哉と申します。先生方におかれましては、日頃より病診連携にて大変お世話になっております。専門は循環器内科ですが、合併症を多数有する高齢患者様の総合内科的な診療にも力を入れております。当院では、所属する循環器内科医が2名のため、高度な急性期医療は困難ではありますが、合併症を多数有する高齢患者様の慢性心疾患の悪化や多領域にまたがる疾患の患者様などでお困りのことがありましたら、ご相談いただければ幸いです。最後に、微力ではありますが、この地の地域医療に少しでも貢献する所存です。宜しく御願致します。



●整形外科医師 ●藤田 明子(ふじた あきこ) ●診療科：整形外科

本年4月より整形外科赴任となりました。平成22年に神奈川県にある東海大学を卒業後、刈谷豊田総合病院で初期研修を行いました。平成24年より同院にて整形外科後期研修を行いました。前病院では、救命救急センターを併設しており、地域の中核病院として急性期の一般外傷を学んで参りました。東海病院整形外科では、地域包括ケア病床を有することからも、より患者さんに寄り添った医療のかたちについて学ばせていただきたいと思います。また、後期研修を終えて専門的な手術を含めた治療についても、勉強させていただきたいと考えております。元気が取り柄です。一生懸命頑張りますのでよろしく御願いたします。

# 専門外来・地域包括ケア病床の新設のお知らせ

## 糖尿病内科外来の新設

4月より、糖尿病内科外来を新設することとなりました。

診療日 毎週金曜日  
受付 8時30分～11時30分  
担当医 愛知医科大学糖尿病内科  
笠置 里奈



## 単径ヘルニア外来の新設

4月より、単径ヘルニア外来を新設することとなりました。

診療日 第1・3・5 土曜日  
受付 8時30分～11時30分  
担当医 外科当番医



## 地域包括ケア病床の新設

4月より、地域包括ケア病床を新設することとなりました。

病床数 10床  
設置病棟 3階病棟



## 市民公開講座開催のご案内

日時 5月15日(金) 午後3時～4時  
場所 外来待合  
内容 ①ピロリ菌と胃がん 演者 東海病院 診療部長 丸田 真也  
②お薬の取扱いで注意すべきこと 演者 東海病院 薬局長 中野 真行  
参加費 無料

## 病診連携勉強会のご案内

下記の日程にて、東海病院病診連携勉強会を開催させていただきます。  
詳細が決定次第、ご案内させていただきますのでご出席、よろしくお願いいたします。

日時 6月20日(土) 午後3時～  
会場 健康管理センター3階 カンファレンスルーム

